



とっとりん

News letter VOL. 02

鳥取市では、将来にわたって公共施設を安心して使い続けていけるよう、施設の再編を検討しています。その取り組みとして、現在「河原地域のくらしと公共施設を考えるワークショップ」を開催しています。「このまちでどんな暮らしをしていきたいか」、「そのためにどんな施設が必要か」を、全3回のワークショップを通じて地域の人々と一緒に考えていきます。

Topic 1 たたき台について感想を書き出す

ワーク1では、前回の成果を踏まえて作成された公共施設の再編案（たたき台）を見ながら、良い点や気になる点などの感想を書き出しました。案に対して自分の意見を出すことで、これから作業を進めるグループごとの提案作成に向けた様々な視点を確認しました。



第2回

施設のこれからを
くらしの視点で見つめる

日時：11/8（土）
9:30～11:30

会場：西郷地区公民館
参加者：18名

Topic 2 提案に向けて考え始める

ワーク2では、自分たちの提案を作っていくうえで、中心に考えたいたたき台を選びながら、グループとして追加検討したい施設や活動の検討をしました。施設の話だけではなく、交通手段や制度・仕組みなどの話題まで、様々な意見交換を進めました。



Topic 3 提案に向けたアイデア出し

ワーク3では、地域で大切・必要なことを実現させるためのアイデア、それに向けた改善点などを出し合いました。たたき台にはない新たな視点がたくさん出されました。

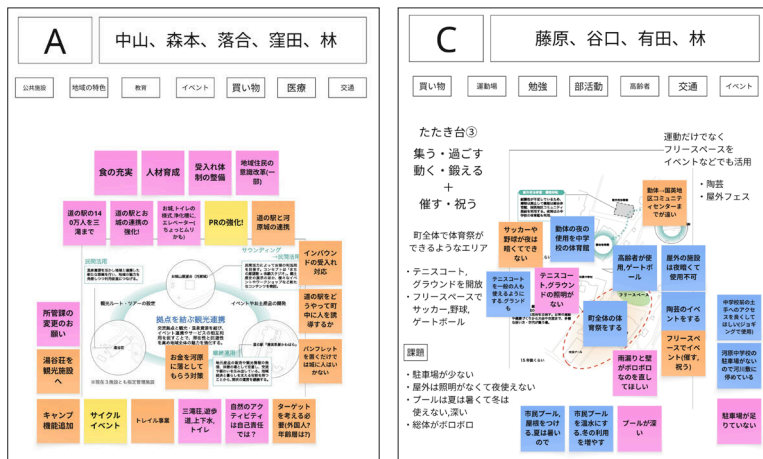


Topic 4 全体共有&次回に向けて

ワークショップの最後には、今日の成果を他グループへ共有する全体発表を行いました。発表の中では、グループごとの提案の骨子になる、中心に考えたいたたき台とアイデアなどがたくさん共有されました。現在の活動や今後実現したいことから公共施設を考えるという流れで、参加者自身の経験や暮らしに根ざした視点をもとに整理がされていました。

意見交換やアイデアを出すことで、自然にグループのなかで提案のコンセプトに繋がるような議論が展開されました。

次回は、アイデアの深掘りをするに加えて、最終提案としてまとめる回です。公共施設のあり方は、地域での生活を考えるなかの一部であるため、実際の活動や将来へ繋がる多角的な視点でまとめることを目指していきます。



参考：当日成果のデータ版（一部抜粋）

次回：11月30日（日）9時半～11時半（場所：河原コミュニティセンター）